



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月8日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 吉本 清志 TEL 03 (5962) 1119
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	77,086	8.0	4,324	30.0	4,498	33.6	2,692	48.6
26年2月期第3四半期	71,347	6.5	3,326	185.5	3,367	165.5	1,811	239.7

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 3,097百万円 (41.8%) 26年2月期第3四半期 2,184百万円 (282.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	48.41	—
26年2月期第3四半期	32.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	59,422	29,666	49.9	533.26
26年2月期	59,477	27,459	46.2	493.59

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 29,666百万円 26年2月期 27,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	16.00	16.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 26年2月期年間配当金の内訳 普通配当14円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	6.7	5,000	15.9	5,200	18.7	3,200	73.4	57.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	59,948,294株	26年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	4,315,752株	26年2月期	4,315,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	55,632,542株	26年2月期3Q	55,813,821株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況	12
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注高および売上高の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	71,347	77,086	5,738	8.0
営業利益	3,326	4,324	997	30.0
経常利益	3,367	4,498	1,131	33.6
四半期純利益	1,811	2,692	881	48.6

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、緩やかな回復傾向にあります。海外景気の下振れリスクのほか、消費税率引き上げの影響により個人消費に落ち込みが見られるなど、依然として先行き不透明な状況が継続いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様の視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリテイ・パートナー」への進化を追求するため、新中期経営計画（平成27年2月期～平成29年2月期）に則り、「ナンバーワンの価値の連鎖」をテーマに、お客様への提供価値の向上を目指してまいりました。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高が770億86百万円（前年同期比8.0%増）と堅調に推移するとともに、利益面におきましては、売上高の増加に加え、採算を重視した受注の徹底などが寄与し、営業利益43億24百万円（前年同期比30.0%増）、経常利益44億98百万円（前年同期比33.6%増）、四半期純利益26億92百万円（前年同期比48.6%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

なお、当社は平成26年3月、㈱乃村リテールアセットマネジメントの全株式を譲渡したため、同社を当社の連結の範囲から除外しております。これにともない、当社セグメントは、ディスプレイ事業および飲食・物販事業となっております。

①ディスプレイ事業

雇用・所得環境の改善により個人消費の回復が期待されるなか、モバイル関連店舗の什器制作やアパレル関連店舗の出店や改装などにより専門店市場が堅調に推移いたしました。また、集客力の向上を目指し改装が進む百貨店・量販店市場のほか、各種ショールームや大型展示ブースなどを手掛けた広報・販売促進市場、オフィスの環境演出等を手掛けたその他市場においても順調に売上が伸びました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は751億9百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益40億92百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

(単位：百万円)

概要		売上高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	モバイル関連店舗の什器制作 やアパレル、金融機関の店舗 内装制作等	31,137	33,403	2,265	7.3
百貨店・量販店市場	首都圏や地方都市の百貨店に おけるリニューアル等	4,832	5,648	815	16.9
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	駅周辺や空港内における商 業施設の新装や改装、空間 演出等	5,222	5,272	49	1.0
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セール スプロモーション、CI等)	電機メーカーや住宅関連企業 のショールーム、「東京ゲー ムショウ2014」の展示ブース 制作等	12,222	13,274	1,051	8.6
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	水族館のほか、歴史や環境に 関する文化施設のリニューア ル、指定管理者制度 ^(注) にも とづく施設の管理・運営等	4,866	4,841	△25	△0.5
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施 設、アミューズメント施設、エンターテ イメント施設、動物園、水族館等)	ホテルやアミューズメント施 設の新装や改装等	5,318	5,772	454	8.5
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイ ベント等	412	450	37	9.2
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、ブライダル施設、サ イン、モニュメント等)	オフィスやブライダル施設の 環境演出、富裕層向けの邸宅 等	5,431	6,447	1,015	18.7
ディスプレイ事業		69,444	75,109	5,665	8.2

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②飲食・物販事業

「江戸東京博物館ミュージアムショップ」（東京都墨田区）や「フレームカフェ」（東京都港区）などの既存店舗の他、平成25年12月、羽生パーキングエリア「鬼平江戸処」（東北自動車道／埼玉県羽生市）内にオープンした飲食、物販の各店舗運営などを手掛け、売上高は19億77百万円（前年同期比28.8%増）、営業利益は2億86百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は594億22百万円（前連結会計年度末比54百万円減）、負債は297億55百万円（前連結会計年度末比22億61百万円減）、純資産は296億66百万円（前連結会計年度末比22億6百万円増）となりました。

総資産は、第1四半期連結会計期間において、㈱乃村リテールアセットマネジメントの株式を譲渡したため、同社が保有していた土地および建物等の固定資産が減少しております。また、同社の売却による収入のため現金及び預金が増加したことで流動資産は増加しております。

負債は、期末月の仕入減少により、支払手形及び買掛金が大幅に減少したことや、事業構造改革費用引当金の取り崩し等があり、減少しております。

純資産は、配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.2%から49.9%となりました。

(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月8日に発表した平成27年2月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当しておりませんが、以下の異動が発生しております。

- ①㈱乃村リテールアセットマネジメントの所有株式を全て譲渡したことにより同社を当社の連結子会社から除外しております。
- ②㈱六耀社の全株式を取得したことにより同社を当社の連結子会社にしております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,181	15,294
受取手形及び売掛金	16,327	16,180
たな卸資産	8,652	8,952
繰延税金資産	1,508	1,177
その他	1,848	1,293
貸倒引当金	△29	△32
流動資産合計	37,488	42,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,252	9,977
土地	9,757	5,463
その他	1,748	1,815
減価償却累計額	△6,921	△6,667
有形固定資産合計	16,837	10,588
無形固定資産	874	1,391
投資その他の資産		
投資有価証券	2,763	3,374
その他	1,870	1,560
貸倒引当金	△357	△357
投資その他の資産合計	4,277	4,576
固定資産合計	21,989	16,556
資産合計	59,477	59,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,584	14,524
短期借入金	208	274
未払法人税等	1,307	1,586
前受金	3,620	3,992
賞与引当金	813	643
工事損失引当金	86	66
事業構造改革費用引当金	895	—
その他の引当金	85	104
その他	2,842	3,237
流動負債合計	26,443	24,430
固定負債		
退職給付引当金	3,764	3,856
その他の引当金	83	105
その他	1,725	1,363
固定負債合計	5,573	5,325
負債合計	32,017	29,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	14,326	16,129
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	26,594	28,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	635
土地再評価差額金	482	482
為替換算調整勘定	148	151
その他の包括利益累計額合計	865	1,269
純資産合計	27,459	29,666
負債純資産合計	59,477	59,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	71,347	77,086
売上原価	59,770	64,249
売上総利益	11,577	12,837
販売費及び一般管理費	8,251	8,512
営業利益	3,326	4,324
営業外収益		
受取利息	8	28
受取配当金	18	21
仕入割引	56	61
その他	52	71
営業外収益合計	135	183
営業外費用		
支払利息	0	8
投資不動産管理費用	1	—
関係会社貸倒引当金繰入額	90	—
その他	2	0
営業外費用合計	94	9
経常利益	3,367	4,498
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	183	49
ゴルフ会員権償還益	—	28
特別利益合計	183	81
特別損失		
固定資産除売却損	22	5
減損損失	503	—
投資有価証券評価損	17	—
店舗閉鎖損失	22	—
特別損失合計	565	5
税金等調整前四半期純利益	2,985	4,574
法人税等	1,173	1,881
四半期純利益	1,811	2,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
四半期純利益	1,811	2,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	299	400
為替換算調整勘定	73	3
その他の包括利益合計	372	404
四半期包括利益	2,184	3,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,184	3,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,444	368	1,535	71,347	—	71,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	11	23	39	△39	—
計	69,448	380	1,558	71,387	△39	71,347
セグメント利益	3,039	120	233	3,393	△67	3,326

(注) 1. セグメント利益の調整額△67百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ディスプレイ事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地について売却を予定していたこと等により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（50百万円）として特別損失に計上しております。

「不動産事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地・建物について収益性の低下による減損の兆候が認められたため、その認識・測定をおこなった結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（452百万円）として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,109	1,977	77,086	—	77,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	10	13	△13	—
計	75,113	1,987	77,100	△13	77,086
セグメント利益	4,092	286	4,379	△54	4,324

(注) 1. セグメント利益の調整額△54百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、㈱乃村リテールアセットマネジメントの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これにともない、第1四半期連結会計期間より報告セグメントは、ディスプレイ事業および飲食・物販事業となっております。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	32,315	33,020
百貨店・量販店市場	4,966	5,640
複合商業施設市場	4,825	6,219
広報・販売促進市場	12,592	14,238
博物館・美術館市場	4,847	5,085
余暇施設市場	5,317	5,109
博覧会・イベント市場	382	374
その他市場	6,343	5,764
ディスプレイ事業 小計	71,591	75,452
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	71,591	75,452

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 生産高の金額は販売価格によっております。

3 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第3四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	30,574	7,712	32,271	8,259
百貨店・量販店市場	4,814	959	5,501	1,354
複合商業施設市場	3,526	2,699	6,320	3,669
広報・販売促進市場	13,436	6,198	13,589	4,799
博物館・美術館市場	8,071	5,751	7,873	7,357
余暇施設市場	4,701	4,050	3,724	1,206
博覧会・イベント市場	215	153	1,037	736
その他市場	6,696	4,514	5,909	3,768
ディスプレイ事業 小計	72,036	32,040	76,228	31,151
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	72,036	32,040	76,228	31,151

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第3四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	31,137	33,403
百貨店・量販店市場	4,832	5,648
複合商業施設市場	5,222	5,272
広報・販売促進市場	12,222	13,274
博物館・美術館市場	4,866	4,841
余暇施設市場	5,318	5,772
博覧会・イベント市場	412	450
その他市場	5,431	6,447
ディスプレイ事業 小計	69,444	75,109
(不動産事業)	368	—
(飲食・物販事業)	1,535	1,977
合計	71,347	77,086

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別 (ディスプレイ事業は制作品別) の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	27,479	30,351
展示制作	14,749	16,765
環境演出制作	2,450	3,222
販促品制作	1,400	2,404
企画・設計・監理	6,383	7,435
その他	19,127	15,273
ディスプレイ事業 小計	71,591	75,452
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	71,591	75,452

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第3四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	24,841	11,522	27,200	8,720
展示制作	16,636	8,330	18,761	10,467
環境演出制作	3,196	2,028	2,662	1,412
販促品制作	1,503	191	2,851	681
企画・設計・監理	7,504	5,992	8,628	5,430
その他	18,353	3,975	16,122	4,438
ディスプレイ事業 小計	72,036	32,040	76,228	31,151
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	72,036	32,040	76,228	31,151

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第3四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	27,551	32,127
展示制作	13,641	15,250
環境演出制作	2,184	3,034
販促品制作	1,328	2,208
企画・設計・監理	6,255	6,907
その他	18,482	15,580
ディスプレイ事業 小計	69,444	75,109
(不動産事業)	368	—
(飲食・物販事業)	1,535	1,977
合計	71,347	77,086

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。